

デジタル化に乗り遅れるな！

Afterコロナに向けた 新しい働き方

コロナによる社会的な影響が生じてから1年が経過しようとする今、経済活動を止めることなくコロナと共存する社会のあり方、また新しい働き方を実践することにより分かった効果など、事例を紹介し、それを検証することで、さらに効率良い働き方と新たなデジタル化社会に向けた手法について考えます。



日時 2021年 **3月2日** (火)
10:00~12:00

開催形式 ①オンライン (Zoom)
②会場
(浜松商工会議所
10階BC会議室)

定員 オンライン：70名
会場：30名

対象 浜松商工会議所
会員企業

参加費 **無料**
※参加者には、後日、セミナーの
参加方法等をご連絡いたします。

事例紹介① 事業力向上の鍵となる 新しい働き方の手法とポイント

**講師：(株)パソナ リンクワークスタイル推進統括、
総務省テレワークマネージャー 湯田 健一郎 氏**
※湯田氏はオンラインでの登壇になります。

- テレワーク環境を突貫工事で作った企業が改めて見直すべきこと
- テレワークを活用すればこんな働き方ができる
- オンラインでのコミュニケーションの取り方のポイントとは？
- 企業にとってデジタル化に向けた投資は必要なのか？

事例紹介② デジタル化で働き方改革！ ～ハンコを捨てただけではスマートにならない～

講師：NPO法人浜松ソフト産業協会会員／(株)システムクス

- ハンコ＝紙管理からの脱却だけでは、スマート化にならない
- 一度入れたそのデータ(情報)、どこまで使ってる？
- 日報作成のために残業？そんなデジタル化してさっさと帰ろう。
- 新しい働き方に合わせたデジタル的仕組みや、業務システムの改善方法の紹介

講師プロフィール：湯田 健一郎 氏

組織戦略・BPO・CRMのコンサルティングに携わり、特にICTを活用した事業プロセス最適化の視点から、幅広い業界・企業を担当。株式会社パソナにて営業企画、事業開発、システム推進、Webブランディングの責任者を経て、現在、ICTを活用し、場所を問わず多様な人材の能力を活かす「LINK WORK」の推進を統括。併せて、事業会社役員やベンチャーファンド事務局、一般社団法人クラウドソーシング協会の事務局長、総務省テレワークマネージャー、国家戦略特区事業としてテレワーク推進を展開している「東京テレワーク推進センター」の事業責任者なども務め、自身もパラレルワークを実践。政府の働き方改革推進に関連する経済産業省の「雇用関係によらない働き方に関する研究会」や厚生労働省の「柔軟な働き方に関する検討会」「雇用類似の働き方に関する検討会」「仲介事業に関するルール検討委員会」委員等も務める。



3/2 講演会参加申込書 FAXまたはHPからお申込みください。 **FAX:053-459-3535**

会社名	TEL	
所在地	受講形態	①オンライン ・ ②会場
参加者氏名	参加者役職	
E-mail		※オンライン参加者には、後日、参加方法等をメールでご連絡いたします。

※ご記入いただいた内容は、当事業の参加者把握に利用するほか、事務連絡や関連事業の情報提供のために使用することはありますが、第三者に公開するものではありません。